

THE KOBECO

MARCH 1975 NO.167 神戸っ子

14周年記念号

神戸っ子 昭和40年1月20日第三種郵便物認可
昭和50年3月1日印刷 通巻167号
昭和50年3月1日発行 毎月1回1日発行





LADIES SHOP
Beniya
the ladies fashion of the four season. creative beniya

神戸・三宮センター街391-5528・さんちかレディースタウン391-1204／大阪・阪急三番街・上本町近鉄百貨店・ミナミ地下センター／東京・日本橋東急百貨店

卒業、入社のお祝いに
ミキモトのジュエリー。
貴女に大人の気品を添えます。

VIA AIR MAIL



世界の宝石店

MIKIMOTO

神戸店=三ノ宮・神戸国際会館 TEL.221-0062

●大阪支店=堂島・新大ビル TEL.341-0247

●京都支店=河原町錦菴師BAL TEL.731-2970

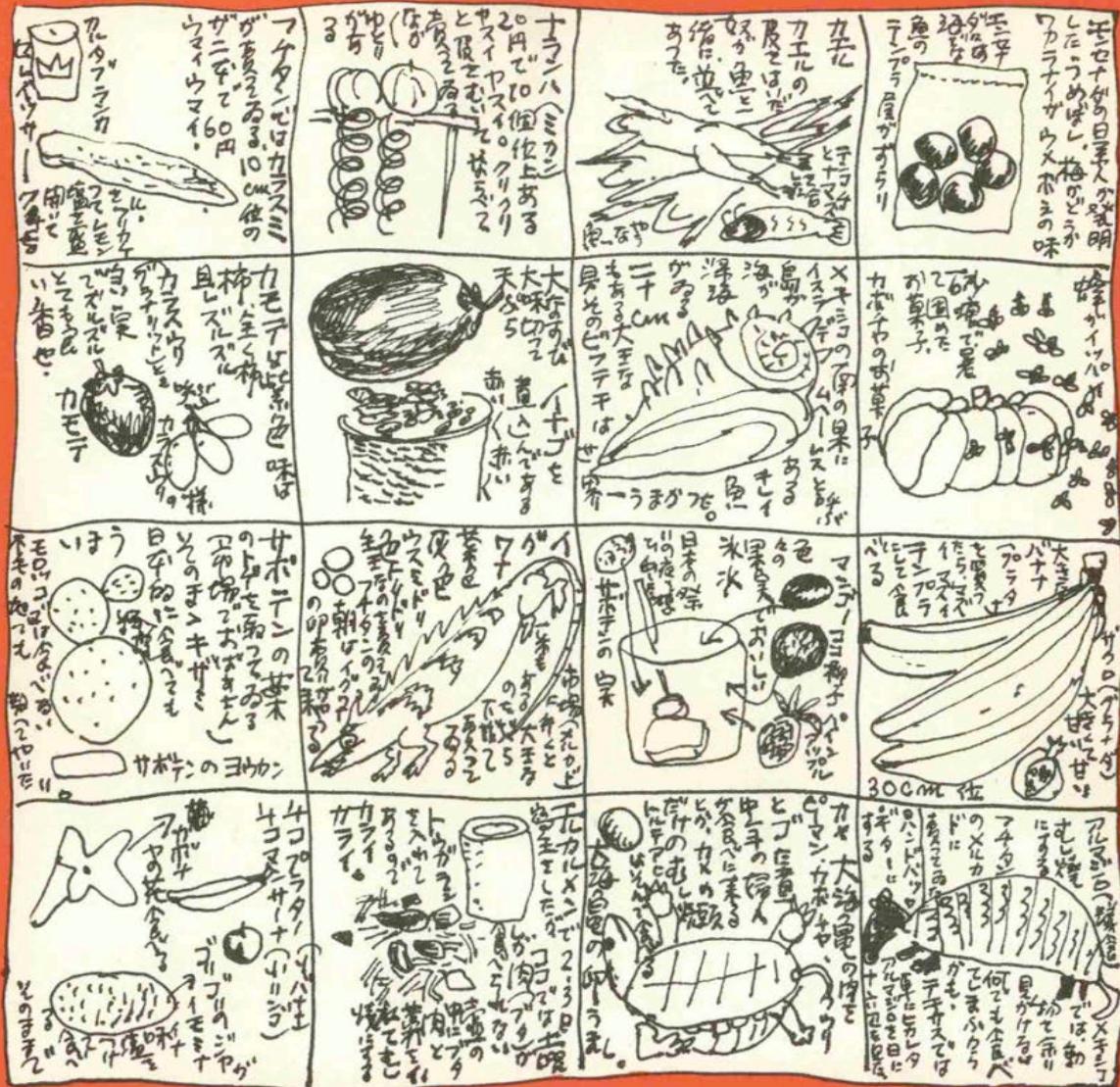
●大阪=阪急・阪神・高島屋・松坂屋・近畿アベノ店

・近鉄上六店

●本店=東京・銀座 TEL.535-4611

■株式会社ミキモト。

◎ナガシマのめづらしい食物



神戸つ子'75



「神戸つ子」14周年記念第4回

ブルーメール賞音楽部門受賞者

日本の音との出会いを求めて

（モダンダンス）

今岡頌子

「空」——際限のない人の求めも、結局、到達できないことへの懊惱に過ぎない。そんな空しさがモダンダンスに描かれた。高橋竹山師の人に触れ日本人であることの血がモダンダンスと日本の音との融合に成功した。単に偶然ではない。日本人であるが故に、消えない日本人の心魂。それこそが今岡頌子自身であつてほかのなものでもなかつた。

とても落ち着いた優雅な人、あくなき創造の旅路がこれからも続き、拡がつてゆく。神戸生れ。

カメラ／藤原 保之





日本初寄港記念
(アメリカ客船)

プリセンダム号香港船の旅

神戸っ子クルーズ募集!

5月6日～5月12日

大阪→香港(航空機)→
香港観光→横浜(プリセンダム号)

費用 A. デラックスキャビン ¥234,000(サンブリッジ) B. 海側ツインベッド ¥211,000
C. 3人室を2人で ¥197,000 3人室を3人で ¥178,000 D. 2人室 ¥182,000
船旅のみの場合 ¥145,000

申込〆切／4月30日(なるべく早い日にお申込みを) 神戸っ子編集部 331-2246
またはフジトラベルへ

コーラルプリンセス号沖縄<海洋博>・韓国の船旅

神戸→沖縄→韓国→神戸

●12月14日～12月30日コース ●12月31日～昭和51年1月6日コース

費用 ¥116,000

運輸大臣登録一船旅行業第223号

主催／KK フジトラベルサービス

大阪市東区北久宝寺町2丁目13ノ4 マエダビル
TEL 06-261-3801(代) 係・安部孝・大津弘

ブルーメール賞文学部門受賞者

「職場作家」を越えて

福元早夫

(AMAZON 同人)

昭和十九年四月鹿児島生。三十五年四月川崎製鉄入社。現在西宮工場に勤務。作品の底流に戦争が影を落としている。戦争を自らの直接体験として書き綴った第一次戦後派の子の世代。周囲には戦死した父をもつ若者が多い。彼もそのひとりだ。大阪文学学校を卒業。小説の勉強というより出会いの場が欲しかった。仲間と一緒に飲みに行くのが乐しかった。よく飲む。徹底して飲む。最近、身辺雑記的なものから他人の悩みを自分の悩みとして書けるようになったという。「いい仕事ができないいい小説は書けない」彼の持論だ。西宮在住。甲子園浜にて。

カメラ／米田定蔵

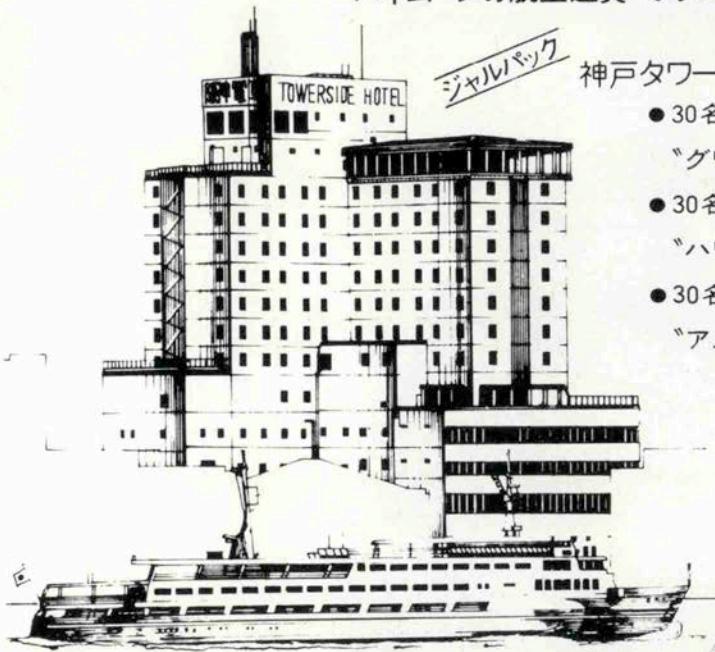


ウエディング
のことなら

すべておまかせください

挙式・ご披露宴から、ハネムーンまでいっさいの費用をパックしています。

ハネムーンの航空運賃・ホテル料金も含んだ、便利なパックです。



神戸タワーサイトホテル ウエディング パック

- 30名さまのご披露宴と

“グワム”ハネムーン 441,000円より

- 30名さまのご披露宴と

“ハワイ”ハネムーン 625,000円より

- 30名さまのご披露宴と

“アメリカ西海岸とハワイ”ハネムーン

741,000円より



阪神電鉄グループ

神戸タワーサイトホテル

生田区波止場町1・中突堤前 ●お問い合わせは TEL(078)351-2151 TEL(078)221-5637(阪神航空・神戸営業所)



「神戸つ子」14周年記念第4回

ブルーメール賞美術部門受賞者

現代における人間とマンダラ的世界

藤原向意
(版画)

現代人は機械人間、そのあえぐ姿の風刺をテーマに、貫して固有の造形の方法と思考を追求しつづけている。木版を主体にあらゆる版画のテクニックと、しかも鮮麗な色彩を用いながら。

版画というこじんまりした世界にとどまるのではなく無限に広がる宇宙を四角い画面に閉じこめる。人呼んで藤原向意のマンダラ的世界。人間性の形が作品の上に力となってでてくる時、藤原氏のねばりある本質が、見る者に純粹な美しさを提示する。兵庫県立神戸農学校で教鞭をとつて20年、人柄の良さに加えて、その作品群の増々の冴えに拍手を送りたい。43歳。加古川市在住 カメラ／米田定蔵





1F ナイトクラブ・2F レストラン

神戸 北野 クラブ

神戸市生田区北野町1-64 TEL(078)231-2251

レストラン

神戸 ブラン ドゥ ブラン

神戸市生田区京町77-1 神栄ビル7F TEL(078)321-1455



東京



レストラン ストッフホールム

東京都港区六本木6-11-9

スウェーデンセンター

TEL(03)403-9046

北野 クラブ

ランチ ¥1,800~

ディナー ¥2,600~

年中無休
駐車場有

ブラン ドゥ ブラン

ランチ ¥1,500~

ディナー ¥2,600~

天ぷら定食 ¥2,300~



「神戸つ子」14周年記念第4回

ブルーメール賞古典芸能部門受賞者

得がたい踊り手芳五三郎

花柳芳五三郎

邦舞家

昭和3年生まれ。花柳樂瞳師のもとで修業し、この四月六日に開かれる『芳五三郎の会』は、二十四回目を数える。神戸では一年間の舞台出演数随一。役柄も立役、女形と広く、ワキに廻っても演じ魅力を発揮する得がたい踊り手だ。

昨年は、花柳駒さん（田村高広夫人）にこわれて、インドのシタールを扱った芸術祭参加作品「流沙の詩」の主役をこなし新生面を開き、その縁で六月の梅田コマ「阪東妻三郎追悼公演」では阪妻という大役に、子息の幾三郎さんとともに出演する。また昨年は、門下生の五三輔、五三豊さんも自主公演を開き、男性舞踊手が八人揃うという子弟育成にも力を惜しまない人。「この賞を機に、芝居も、踊りも古典も、新作も、門下生そろつて頑張りたいですね」と、柔かい口調に、力感こもる言葉だった。兵庫区在住。（福原の自宅で。）

カメラ／米田定蔵



KOBECO GALLERY

10

神戸つ子
ギヤラリー

国画会

一人の画家が抽象と具象を描きわける。めざらしく、ユニークでもあり、矛盾もある。その矛盾をものとせず捕らうといふことは、没頭しているのが須田赳太氏である。

「芸術とは生きる原風景を喰らうのが筋だ」といひきる。

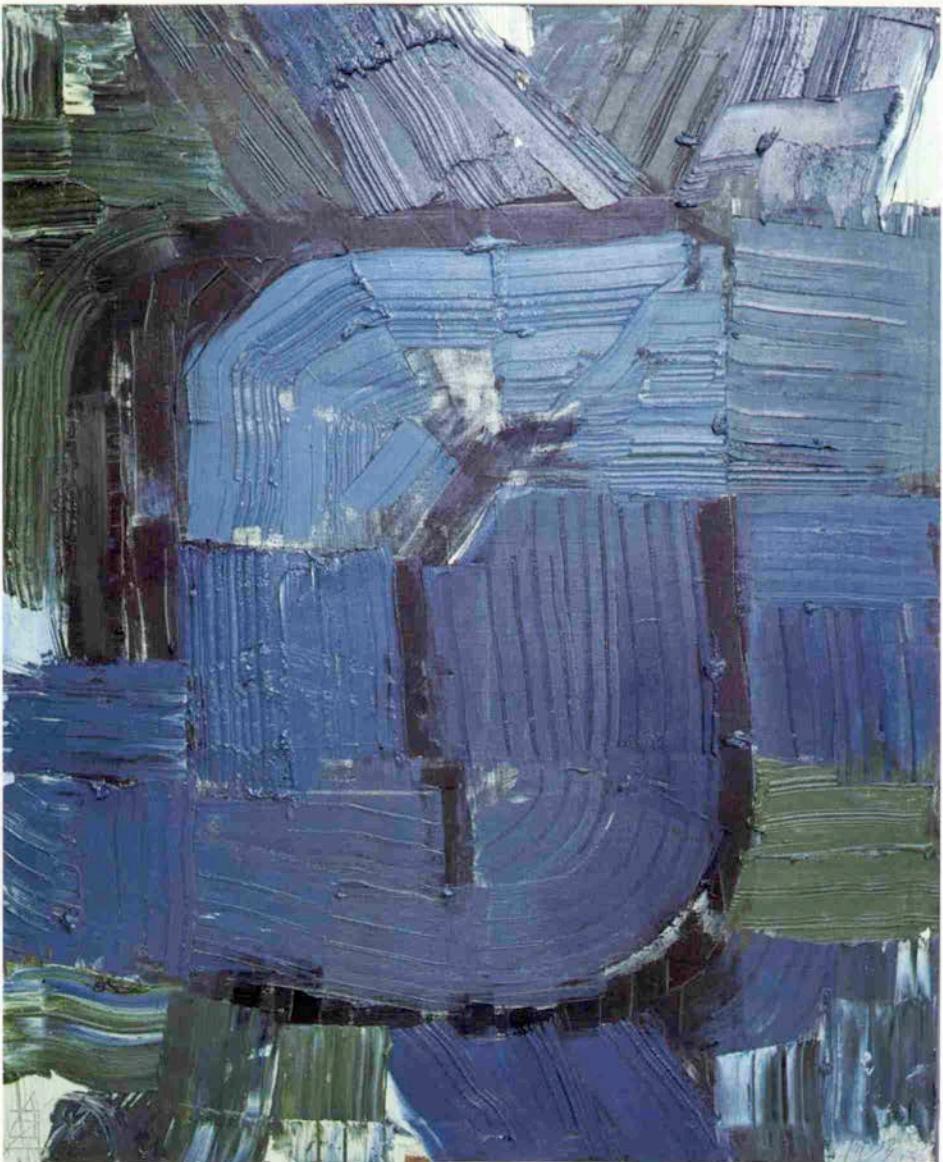
生命には肉体と精神という両面があり、生と死という両極がある。その極はどこかで融合している。それが生命。絵には具象と抽象という二面があるが、生命の根源に触れるという目的には違いがない。絶対的に相容れない領域が融合するという西田哲学の命題を妥協でなく自ら実践しているのである。

多くの批判や忠告があった。けど、どうしてもやりたかった。今、一生懸命やること、実行することがなによりと、いう悟りを道玄の著に見いだし、力づけてくれる友人を得、須田氏独自の世界に飛びこんだ。

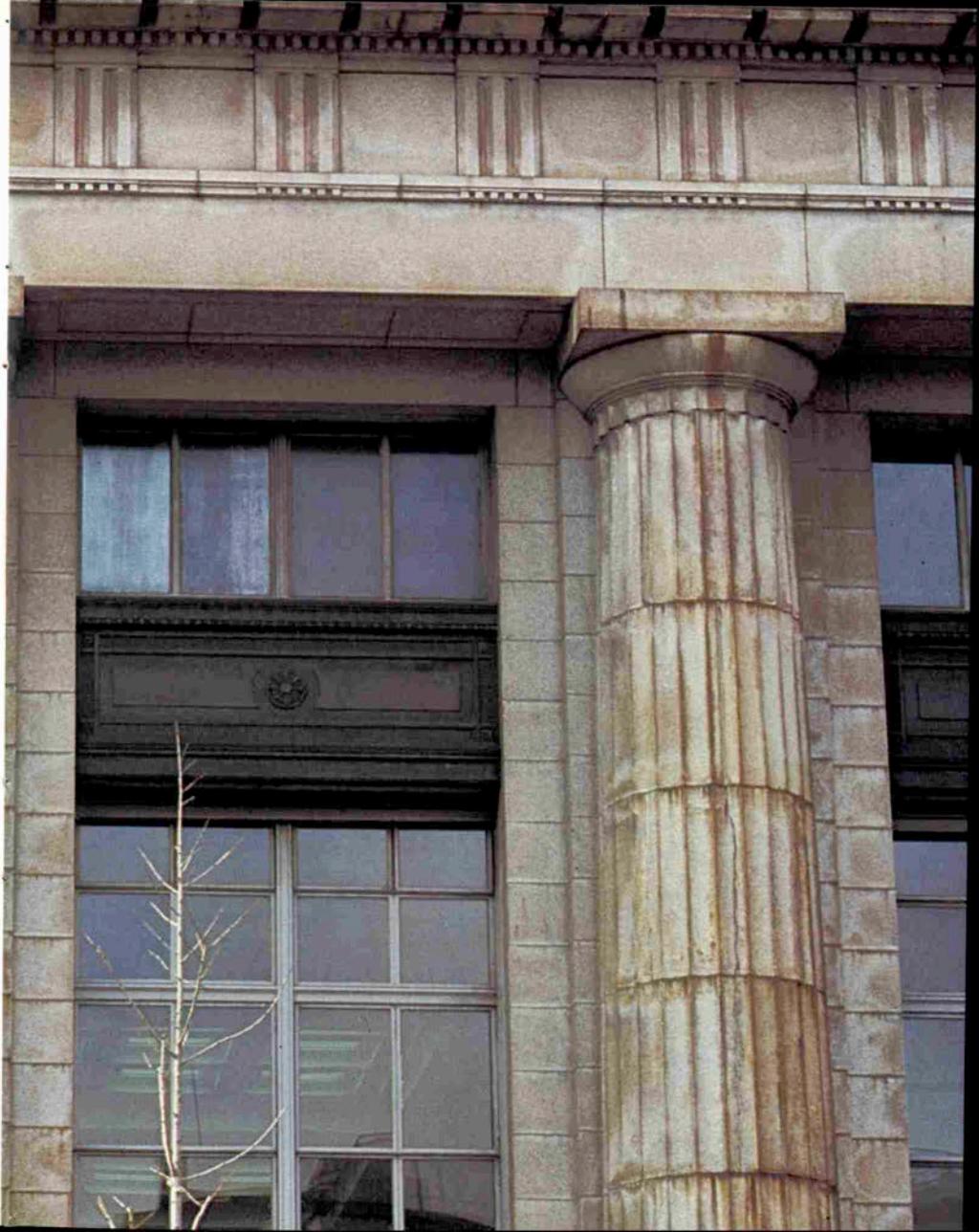
法隆寺の壁画（焼失前）を見、感動して埼玉から関西へ移り住み、仏像と向かいあい寺社を散策することがなにより好きという。奈良、京都に知己も多く、具象画のモチーフには古代がつなに表われる。
須田魁太氏といえば、司馬遼太郎氏の『街道を行く』（週刊朝日連載中）の挿し絵でもおなじみだが、太古、中世、遠い昔、たしかにそこにおもった民族の根源を探ねるこの仕事、ついでに、おいをどこかでつかめたら……と司馬氏との名コソビで快調に進んでいる。
昔からジーンズ党、どこへ行くのもこれですという須田氏のポケツトは、眼鏡、手帳などでどれもいっぽいだつた。旅先で感じたり会得した古代の姿や人間の姿が、つめこまれているるかのようだ。



一九〇六、埼玉五里に生まれる。一九三九、日特連説「日清書士男」第2選となり、國團会員となる。一九四〇、東京・ビエンナーレ国際美術展覧會に日本美術展を出し、「五十五五」を除く」と題する。一九四五、日本美術展を出展。一九五六、日本美術展を出展。一九五九、「アーティスト・ラボ・サンズ」を設立。一九六〇、「アーティスト・ラボ・サンズ」を解散。一九六一、「アーティスト・ラボ・サンズ」を再開。一九六二、西宮市立文化大賞受賞。一九六三、西宮市立文化大賞受賞。現在西宮市文化芸術協会代表。西宮市立文化芸術館館長。西宮市在住。

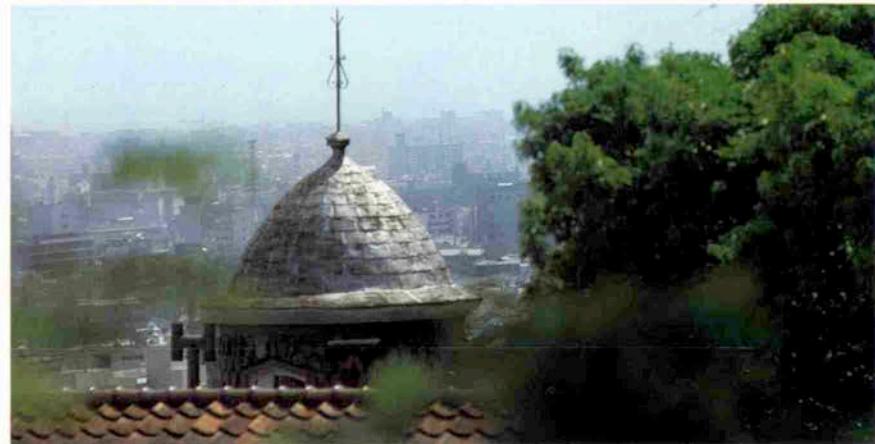


作品一九七四年(F-100号)





FANTASY KOBE 3月



丸屋根の 窓の みどりの 光の……



白金ダイヤ入り 翡翠リング

.. 宝飾店
Tajima
タジマ

元町 2 丁目 TEL 331-5761 代表

タジマでは宝石の鑑定を無料でご相談に
応じておりますのでお気軽にご利用下さい。
定休日は水曜日です。

宝石はこころの花



書／「花」・山田 無文



トア・ロード
タカタ宝石

〒650
神戸市生田区北長狭通2-161-1
tel 078・391・4105

New life lady in Kobe



美しく咲く アートフラワー

曾我 佳栄さん

〈王子建設(株)社長 曾我勇氏夫人〉

フランス刺繡を楽しむ。アートフラワーを習う。女性の感覚が大いに發揮される優美な趣味。今までの作品を並べてみると、美しく繊細なセンスを感じさせる素敵なお嬢様。そんな趣味も、今のところいたずら盛りの3人の子供たちに囲まれて思うようには……。しかしそれが幸せそう。

須磨で生れて須磨に生活する神戸っ子夫婦が元町、三宮をショッピングする仲の良さ、甘くかろやかなラングドシャのよう。

●コトブキお菓子マンスリー(3月)
甘さを押えたシュガーレスケーキ
《ダニエル》



新しいダニエルはレディの人気者です。

お菓子の  コトブキ

3月 目次

これは神戸を愛する人々の雑誌です
あなたのくらしに楽しい夢をおくる
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ
これは神戸っ子の手帖です

表紙／小磯良平

セカンドカバー／COLLECTION／中西 勝

50 42 37 34 32 30 28 25 22 21 14 12 5

5 75 ブルーメール賞受賞者／今岡頌子／福元早夫／藤原向意／

花柳芳三郎／

神戸のディテール（23）／石阪春生／

わたしの意見／西田洋風／

75 第四回ブルーメール賞発表／

随想三題／ジャンメルオー／柳本薫／長尾和一／

ある／その足あと／俳句現代派グループ／

れんざいすいそ／田辺聖子／お姑さま／藤本義一／

神戸情話（9）／落着かない夜に／矢崎泰久／

ある／現代美術家の非芸術的レポート（4）／河口龍夫／

対談／アメリカも人脈やでえ／

竹田洋太郎／田中國夫／

経済ボケットジャーナル／

ブルーメール賞選考座談会／

音楽部門／吉村一夫／小石忠男／柴田仁／

美術部門／赤根和生／増田洋／伊藤誠／

文学部門／赤尾兜子／森川達也／松原新一／

古典芸能部門／沼津雨／佐野謙其／富田順三／

技術ジャーナル／

インタビュー／名和好子／

神戸百景／カメラ・小山保／

ある／集い／俳句現代派グループ／

神戸の集い／から／

コンニチワ／神戸／スイス／

神戸のアーバンデザイン・モダンリビング／水谷頼介／

神戸を福祉の町に／統合教育／橋本明／

動物園飼育日記／東井一成／

もうさんをめぐる神戸っ子たち／たかはしもう／

今月の催し物／案内／

プロフェッサーPの研究室／岡田淳／

心にのこるOLD KOBE／あおばしげる／

ニューヨークからの便り／竹田洋太郎／

淀長立見席／淀川長治／

女体百景／H・ジュニア／え・浅野俊一／

びつといん／

神戸百店会だより／

ポケットジャーナル／

連載小説まだ遅くない／葉月一郎／え・小西保文／

ボエムトコウベ／三浦照子／

海船港／動物検疫所みてある記／

160 158 143 138 137 134 132 130 128 126 124 123 118 114 112 110 104 103 89 72 66 65

カメラ／米田定蔵／藤原保之／立山 影



"SEE SAW SEEN" PHOTO (728×1030)+(728×1030)mm



1973 TATSUO KAWAGUCHI

ご卒業
あめでとう
ございます。

あたらしいあなたにCONGRATULATION!

75 SPRING

yes! my fashion

ほゝえんでみよう



東京・キンザ

San-ai 三愛

三宮店 センター街さんプラザビル2・3F
AM11:00～PM8:00 ☎391-6861